



ふれあいネットワーク

社協 まつもと



私にもできる安全・安心な地域づくり

2018

1月

No.217





地域福祉の向上を推進

松本市社会福祉協議会会長

渡辺 聰

新年おめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より地域福祉の推進に取り組む当会の諸事業に対し、ご理解、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は超少子高齢型人口減少社会の進行や個人のライフスタイルの多様化などにより地域のつながりが希薄化する中で、経済的困窮や社会的孤立状態にある生活困窮者の増加、子どもの犯罪被害、いじめや貧困の問題の深刻化など、多様で複雑な福祉課題が顕在化した年でありました。

「福祉のまちづくり」を推進する当会では、このような多様な課題を受け止め、その解決に向けた具体的な仕組みづくりに取り組む中で、特に「場づくり」「人づくり」「心をはぐくむ」をコンセプトとして平成28年度に策定した「第三期地域福祉活動計画」に基づき、地域の課題解決に向けて、行政や地域住民

の皆さまと連携しながら取組みを進めてまいりました。

さらに、「住民に身近な圏域での我が事・丸ごと」を理念とする社会福祉制度に対応するため支え手と受け手側に分かれるのではなく、あらゆる住民が役割を持ち、互いに支え合いながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」の体制づくりにも取り組んでおります。

そこで、新たな年を迎えるに当たり、複雑多様化する様々な福祉課題に対応するとともに、市民の皆さまを始め、関係機関・団体等との連携を図りながら「誰もが安全・安心に暮らせる福祉のまちづくり」の実現を図るため決意も新たに、役員一丸となつて取り組んでまいりますので、旧年に増して一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、ご健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



～みんなで作ろう とともに生きる地域の心を～

第3期松本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

笹賀地区では、「福祉の地域づくり協議会」が主体となり、新たな事業創出を目指すことを目的に第3期計画の行動デザインワークを使い「見守り・安心ネットワーク」の仕組みづくりに取り組んでいます。行動デザインワークでは、地域の「資源」「活動」を確認し、1～3年後に取り組めることを皆さんと話し合い、29年度の重点課題を5項目にまとめました。

10月には、「送迎ボランティアの体制作り」について、社協職員がファシリテーターとなりワークショップを開催し、参加者から活発な意見が出され、実現に向けて話し合いが進められました。



松南地区では、地区別福祉計画策定及び包括ケアシステムの構築に向け、6月に町会役員等60名を対象に第3期計画の学習会を開催しました。松南地区は公営住宅やマンションなど集合住宅が多い町会もあり、福祉課題も様々なため9町会を3グループに分け、10月と12月にワークショップを開催しました。5年後の松南地区の未来予想図の完成に向けて取り組んでいます。

今月の表紙は・・・

- ① 高齢者施設でアニマルセラピー・・・今年の干支は、戌（いぬ）ワンちゃんに癒されます。
- ② 世代間交流事業・・・毎年恒例の餅つきが行なわれました。（奈川地区社協）
- ③ マリンバとスチールパン 冬のコンサート・・・Cafeポリジでコーヒーを飲みながら、楽しみました。
- ④ 子ども忘年会・・・今井児童センターでは、地域の皆さんをご招待し普段の活動の様子を見ていただきました。
- ⑤ 寿地区福祉の文化祭・・・地区内の障がい者・高齢者施設の方と地域の皆さんが集まり、交流をしました。





“やさしさってなんだろう”

～福祉体験学習～

11月14日(火)に、鎌田中学校1学年の皆さんが、高齢者疑似体験と車イス体験の学習をしました。祖父母の方々と一緒に暮らしている生徒が少なく、高齢者の暮らしが分からなかった皆さんも、体験を通して感じたこと、気づいたことが日常生活の中で活かされると嬉しいです。



一声かけないで、急に段差に行くときすごいビックリしたり、「怖い」と感じました。(車イス)



怖かったり、歩きづらかったり様々な負担がありました。私たちは体験セットをとることができますが、高齢者の方は不可能です。大変だと感じました。

永年のボランティア活動に感謝

～社協島内支会ボランティア部会～

12月2日(土)に開催された「信州ねんりんピック文化・芸術交流大会」において、松本市社会福祉協議会島内支会ボランティア部会の皆さんが、高齢者福祉の分野での永年のボランティア活動に対し、平成29年度社会福祉表彰(長野県知事表彰)を受賞されました。平成7年から21年間継続してデイサービスセンターや児童センターで活動を続け、地域の皆さんと交流をしながら地域づくりを進めています。



手と手をとってあいつなぐる地域

～西部地区「福祉と健康のつどい」～

11月11日(土)に、波田文化センターアクトホールで西部地区「福祉と健康のつどい」が開催され、約230名の方が参加しました。第1部は、施設等でボランティア活動を行っているグループのオカリナやアルパの演奏を聴きました。第2部は、「ながの盲ろう者りんごの会」の会長柳澤順子さんと副会長上原康彦さんから、ボランティア活動を通じた障がい者と市民の交流や、地域での生活を通しての障がい者と市民とのコミュニケーションの在り方について講演をしていただきました。共に支え合いながら、自分らしく活躍できる地域社会を一緒につくりあげていくことが大切なことです。



平成30年度松本市社会福祉協議会職員採用試験

地域福祉向上にともに取り組んでもらえる職員を募集します。

★職種：事務職 ★雇用区分：正規職員 ★採用予定人員：若干名

★受験資格：①～④すべてに該当される方

- ①昭和52年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方
- ②社会福祉士資格を有する人または平成30年3月31日までに取得見込みの方
- ③普通自動車運転免許を有する方または平成30年3月31日までに取得見込みの方
- ④本所・各地区センター及び事業所に通勤可能な方

★受験申し込み期間・方法：平成29年12月20日(水)～平成30年1月10日(水)

詳細は、下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

★第一次試験：日程 平成30年1月21日(日)午前9時30分～

会場 あがたの森文化会館 本館2階 2-8

★問い合わせ：松本市社協総務課 電話 27-2000



★児童厚生員・ケアマネージャー・ホームヘルパー募集のお知らせ

下記の職種の職員を募集しています。

職 種	児童厚生員	ケアマネージャー	ホームヘルパー
雇用区分	嘱託職員	第1種臨時職員	登録職員
採用人数	5名	若干名	若干名
資 格	教職員または保育士免許	介護支援専門員 普通自動車免許	ホームヘルパー2級 介護職員初任者研修修了者 介護福祉士のいずれかを保有 普通自動車免許
契約期間	H30.4.1～H31.3.31 (更新可)	雇用日からH30.3.31(更新可) 正規・嘱託職員への内部登用 制度あり	雇用期間の定めなし
勤 務 地	松本市社協の運営する 市内の児童センター	指定居宅介護支援事業所 (双葉4-16) 北部居宅介護支援事業所 (元町3-7-1)	南西部ヘルパーステーション (笹賀2901) 西部ヘルパーステーション (梓川梓2283-2)
募集期間	定員になり次第終了	定員になり次第終了	定員になり次第終了
問い合わせ	総務課 27-2000	在宅福祉課 25-3032	在宅福祉課 25-3032

日赤活動資金・赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

日本赤十字社の活動資金及び赤い羽根共同募金運動へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。

活動資金は、各種講習会(救急法・幼児安全法など)や赤十字奉仕団の活動費、災害支援をはじめ国際活動などに使われます。

共同募金は、30年度の長野県内の福祉施設での事業、また35地区社協や松本市社協の事業費などに配分されます。



島立小学校児童会 募金運動



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 編集 「社協まつもと」編集事務局
住所 〒390-0833 松本市双葉4番16号
電話 27-3381 FAX 27-2239 E-mail: syakyoum@avis.ne.jp
ホームページ <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>

『社協まつもと』はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。